

特別支援教育専門領域の紹介

特別支援教育専門領域は、通常の教育では学習が困難であったり、特別な配慮が必要であったりする子どもたちへの教育や支援について学びます。

そのため、様々な障害がある子どもや成人に接したり、専門書を読んだり、講義を聞いたりして学んでいきます。

学習活動

1年生

- ・ 教職科目や教養科目の履修を中心に
- ・ 1年生からとれる専門科目も用意されています

2・3年生

- ・ 幅広い専門科目の履修
- ・ 3年春学期、小学校と特別支援学校での実習

4年生

- ・ 専門科目・副免科目の履修
- ・ 卒業研究

学生生活

運動系から文化系まで様々なクラブ活動やサークル活動に自由に参加しています。

障害がある人の余暇支援活動を行うボランティアサークルでは、先輩や障害のある人や保護者の方から教わることも多々あります。

進路

特別支援学校や特別支援学級の教員志望の人が多数いますが、中には通常学級の教員になる人もいます。その他に、障害者施設の職員になる人、大学院に進学する人、あるいは公務員の道に進む人も若干名います。

選考方法

特別支援教育専門領域は、入学時点で選抜しています。

担当教員の研究紹介

- 渡部 匡隆：自閉症スペクトラムをはじめとした発達障害のある人の支援、その保護者やきょうだい、担任や級友を支える支援、小・中学校、特別支援学校、福祉施設や組織への効果的な支援
- 徳永 亜希雄：肢体不自由のある子どもへの教育実践、国際生活機能分類（ICF）を活用した子どもの多面的・総合的な理解と多職種間連携、特別支援学校のセンター的機能の活用
- 泉 真由子：病気の子どもに対する効果的な心理的支援方法の検討、健常児者と障害児者の共生（インクルーシブ教育）、evidence-based な実践・研究ができる能力の育成
- 軍司 敦子：特別支援教育にて出会う障害の病態解明と、おもに神経生理学の手法を用いた障害の程度や支援の有効性についての客観的評価法の開発
- 雁丸 新一：聴覚障害教育の専門性や特別支援学校（聴覚障害）の各発達段階における手話の活用に関する研究、聴覚障害教育の実践と聴覚障害教育の研究の融合
- 後藤 隆章：学習障害児に対する学習困難のメカニズムの解明、RTI モデルに基づく読み書き支援教材の開発と効果検証
- 神山 努：知的障害児に対する効果的な支援方法の検討、知的障害児の担当教員、保護者や家族に対する支援方法の検討